

会社概要と成長戦略について

November, 2022



セーフィー株式会社

東証マザーズ：4375

会社概要

At a Glance

設立年月

2014年10月

社員数（2022年10月）※1

335人

売上高（FY2022予想）

9,200百万円

ARR（2022年9月末）※2

6,920百万円

課金カメラ台数（2022年9月末）※3

17.1万台

※1 各月初の人数

※2 ARR：Annual Recurring Revenue。各四半期末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。
MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）

※3 各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数

製品・サービスの概要



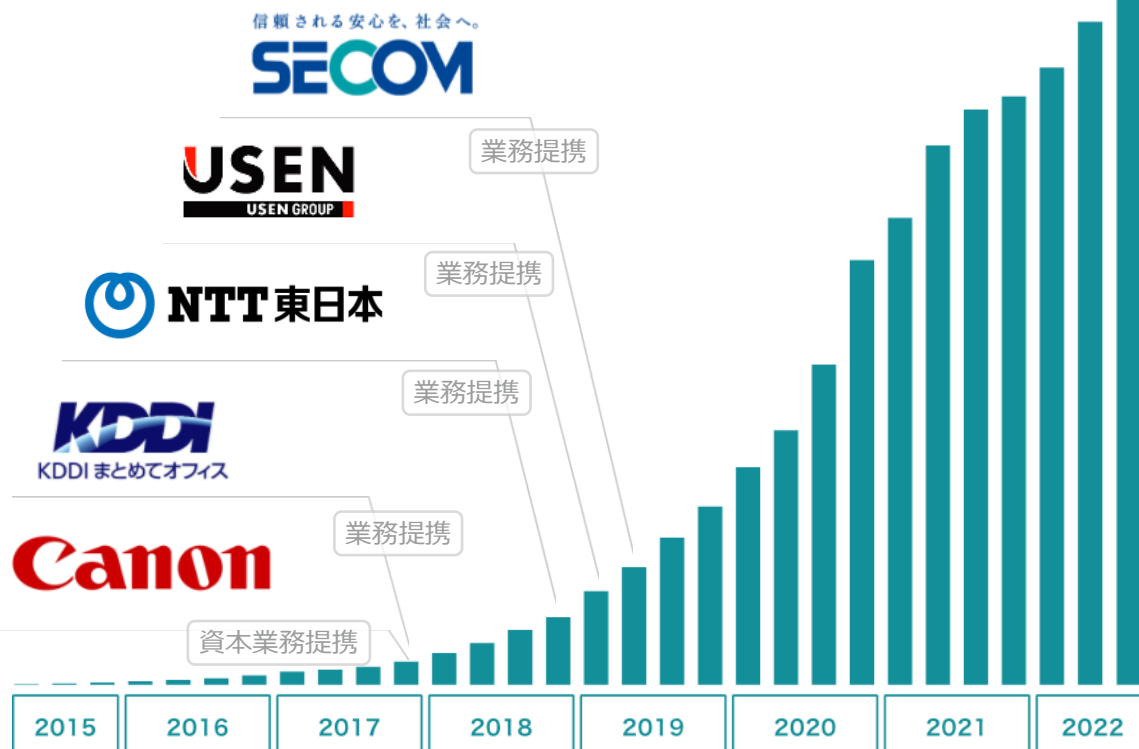
沿革およびマーケットシェア

課金カメラ台数および主な提携実績

課金カメラ台数

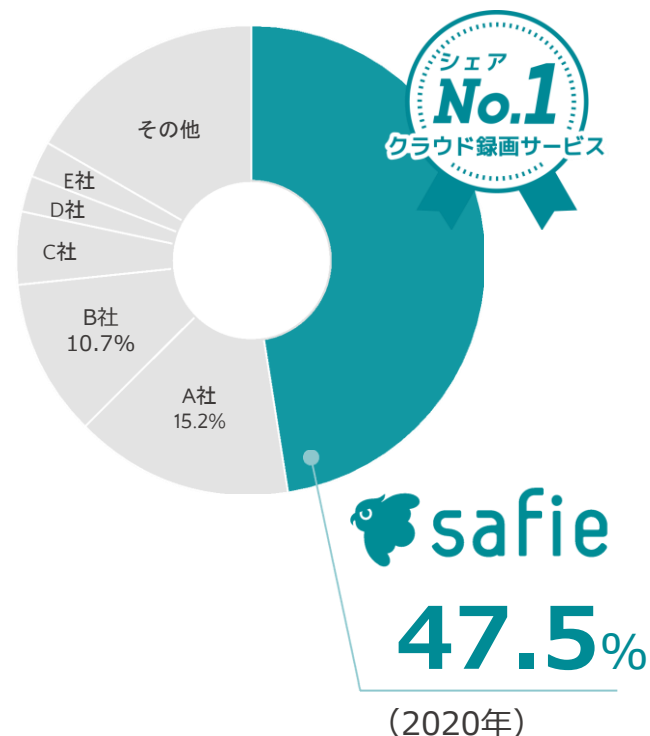
17.1万台

(2022年9月末)



マーケットシェア

クラウドモニタリング・録画サービスシェア※



※出所：Techno Systems Research「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」クラウドモニタリング・録画サービスの定義は、ネットワークカメラを利用したクラウドサービスであり、モニタリングもしくは録画サービス機能を提供している有料サービス。エンジン別カメラ登録台数ベース

環境変化 - 高まる弊社サービスの活用余地

- ✓ 労働人口の減少を起因とした遠隔での業務推進加速など、クラウド映像プラットフォームを活用したDXへのニーズが高まっています。



ビジネスの成長に伴い拡大する広大なTAM

- ✓ 国内では約2,863万台の成長余地、さらにグローバル市場に大きな開拓余地が存在しています。

グローバル

監視 / モニタリングカメラ稼働台数^{※2}
(2024E / 当社試算)

約 **4** 億台

国内

潜在ネットワークカメラ台数^{※1}
(2021年3月時点 / 当社試算)

国内

監視 / モニタリングカメラ総稼働台数^{※2}
(2024年予想)

約660万台

約 **2,863** 万台



safie

課金カメラ台数
(2022年9月末)

17.1 万台

- ※1 ネットワークカメラとは、IP機能を内蔵し、単独でインターネット網に接続して使用可能な業務用カメラを指す(出所：矢野経済研究所)。各種資料を基に、一定の仮定を置いて算出した当社試算値。算出方法については、AppendixのP.69を参照
- ※2 監視／モニタリングカメラとは、監視カメラ製品を指し、IPカメラとアナログカメラに大別される。(出所：矢野経済研究所) 矢野経済研究所「2020年度版監視カメラ市場予測と次世代戦略」に記載の出荷台数を基に、一定の仮定を置いて算出した当社試算値。

製品・サービス概要 – Safie PRO

- ✓ カメラで撮影した映像データをクラウド上に保存し、各種ユーザー端末で閲覧可能な月額課金型のクラウド録画サービスを提供しております。



サービスの特徴



製品・サービス概要 – Safie GO & Safie Pocket

Safie GO / Pocketシリーズは、主に建設現場や屋外での現場のDX推進に大きく貢献しております。

Safie GO シリーズ



- Safie GOはLTEモバイルルーター・通信料及びクラウド録画サービスをセットにした、屋外で使用可能なカメラ
- 防水使用且つコンパクトボディで、様々な現場の業務改善に貢献しております。

Safie Pocketシリーズ



- Safie Pocket2は、あらゆる現場の遠隔業務を推進するクラウドウェアラブルカメラ
- LTE通信・バッテリー内蔵・リアルタイムで会話ができます。
- 様々な現場での遠隔業務を可能としております。

製品・サービス概要 – Safie Entrance

- ✓ Safie Entrance2は、建物/部屋の出入口向けアプリケーションであり、自動顔認証により、扉（電子錠）の手ぶら解錠や、入退室記録の管理、勤怠管理システムとの連携が可能です。



- 手ぶら解錠、ウォークスルーで高速認証&解錠
- 端末情報、入退室情報、顔情報、利用者権限、入場エリアの管理が可能
- 多拠点・多扉の管理が容易
- 最大90日分の履歴データをクラウド保存
- 入退室履歴データをダウンロードし編集が可能
- 遠隔からの緊急解除が可能
- 錠前連携が可能



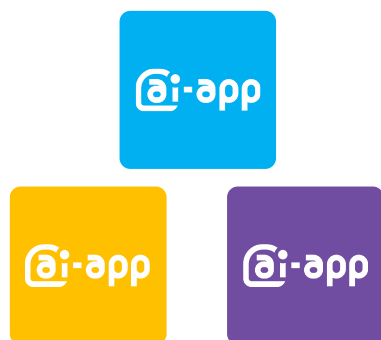
映像とAIで課題を解決できるアプリケーションを続々提供

@i-app

AI解析で様々な課題解決が可能な
アプリケーションを続々提供

safie One

エッジAIを搭載
リアルタイムに近い画像処理が可能に



現場DX
Powered by safie

@i-app

立ち入り検知



立ち止まったら
検知します



通過人数カウント



人を数えます



立ち入りカウント



人を数えます



最初のAI-Appは店舗の管理者向けのアプリケーションで、
9/28の発売と同時にオプション販売

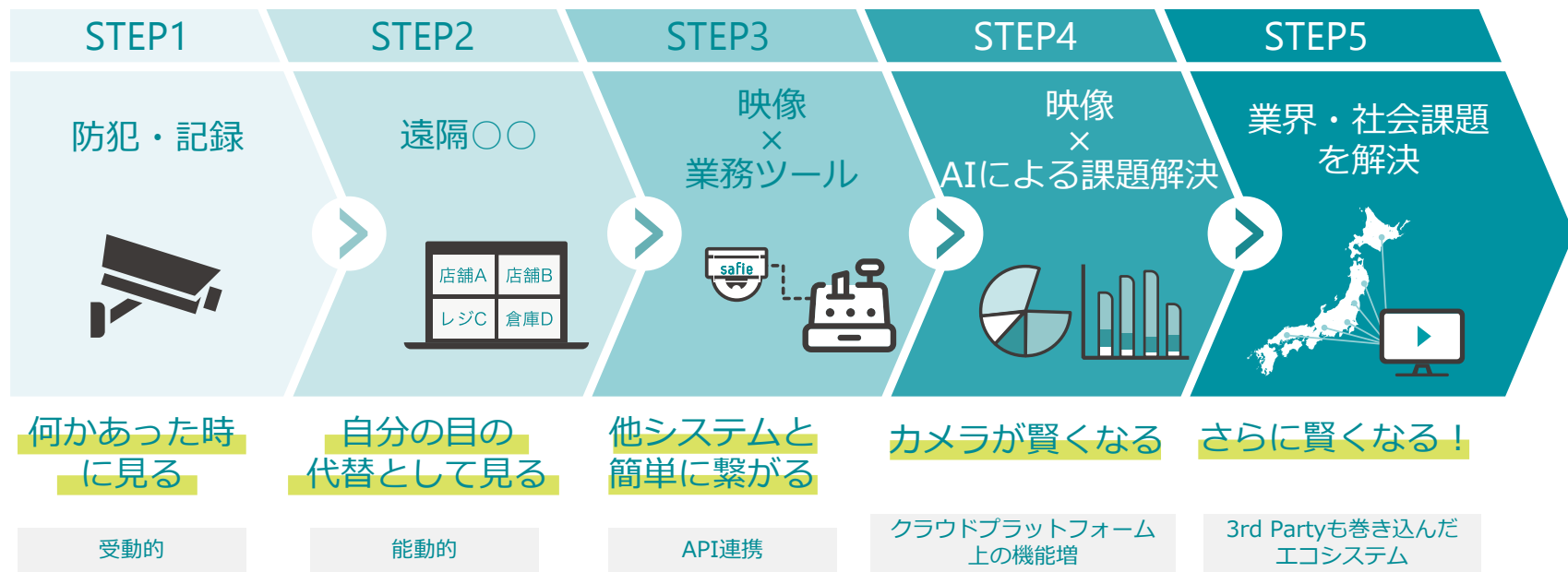
現場DX
Powered by safie

達成にむけた成長テーマ：現場DX



クラウドカメラを使った現場DXの5ステップ

✓ まずはSTEP1もしくはSTEP2を目的としてクラウドカメラが導入され、同時に業務ツールとの連携やAIによる課題解決の検討が可能となります。



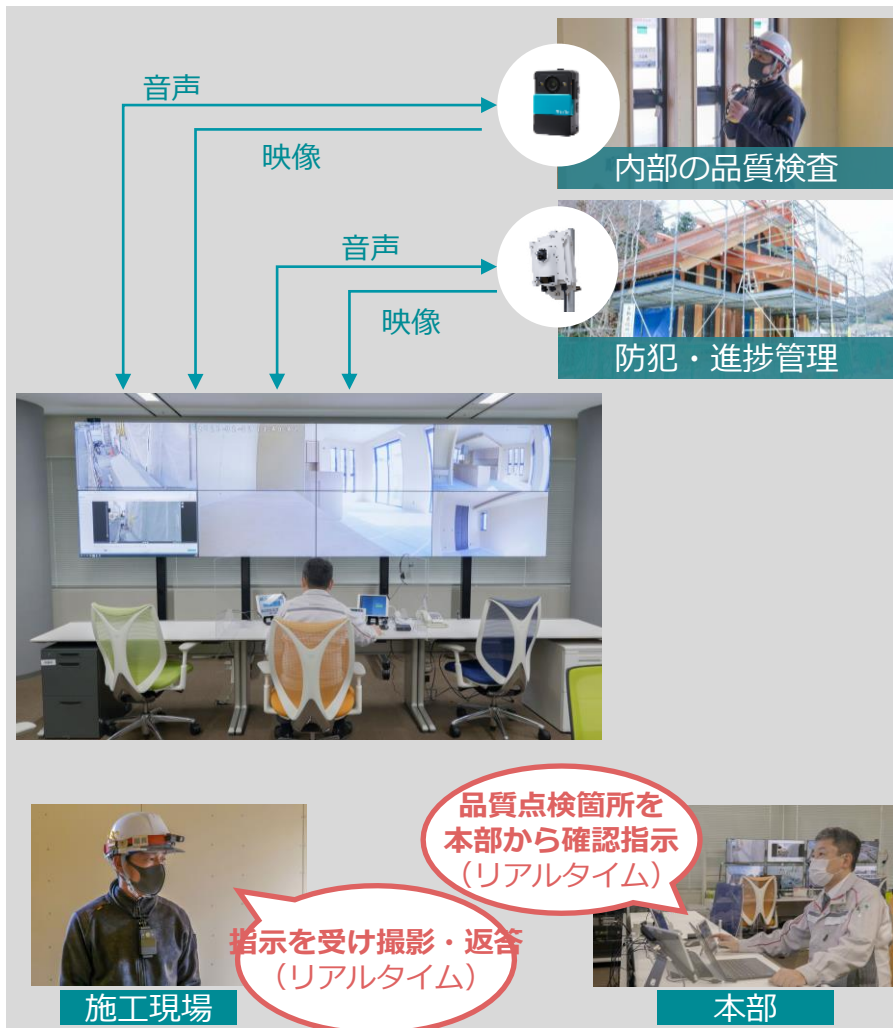
STEP2



「3分以内に提供」が魅力のひとつである1人焼肉ブランド「焼肉ライク」さまは、店舗にSafieのカメラを導入。

全店舗の店内や厨房等の映像データを共有・分析することにより、オペレーションの改善が可能に。

録画映像を振り返り
オペレーション改善指示



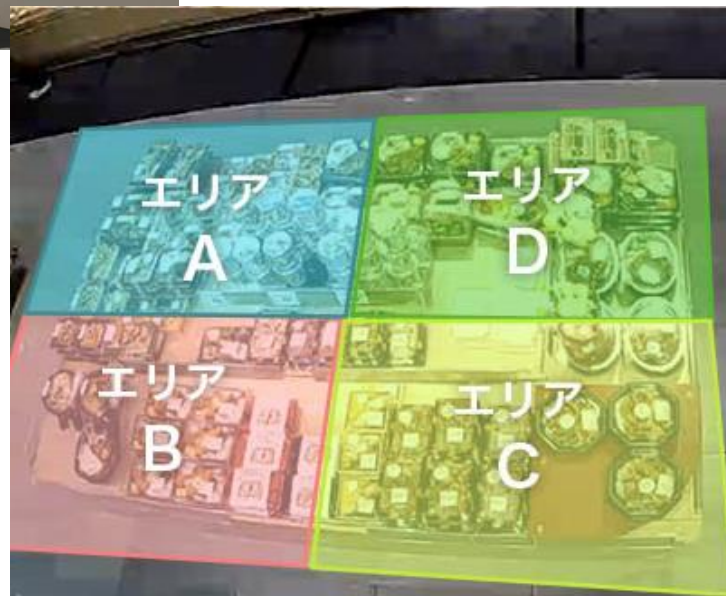
現場DX
Powered by safie

STEP2



日本全国で高品質の住宅を提供している大和ハウス工業では、施工現場の省人化を目指してデジタル化を推進されております。

「スマートコントロールセンター」(SCC)により、施行管理する施工現場の一元管理の実証実験では、全国12カ所に設置したSCCで全国各地の戸建住宅の施工現場管理を定点カメラやウェアラブルカメラで実現可能にし、遠隔での施行状況の確認や品質管理を実施されております。



現場DX
Powered by safie

STEP4



「Safie One」によるクラウド録画サービスの映像とAIが連携し分析を行うことで、従来の業務における課題の改善と新たなスタイルを創出するため、実証実験を行いました。

■ 実証実験の主な内容

目的：お弁当エリアで販売機会の損失低減&売上最大化

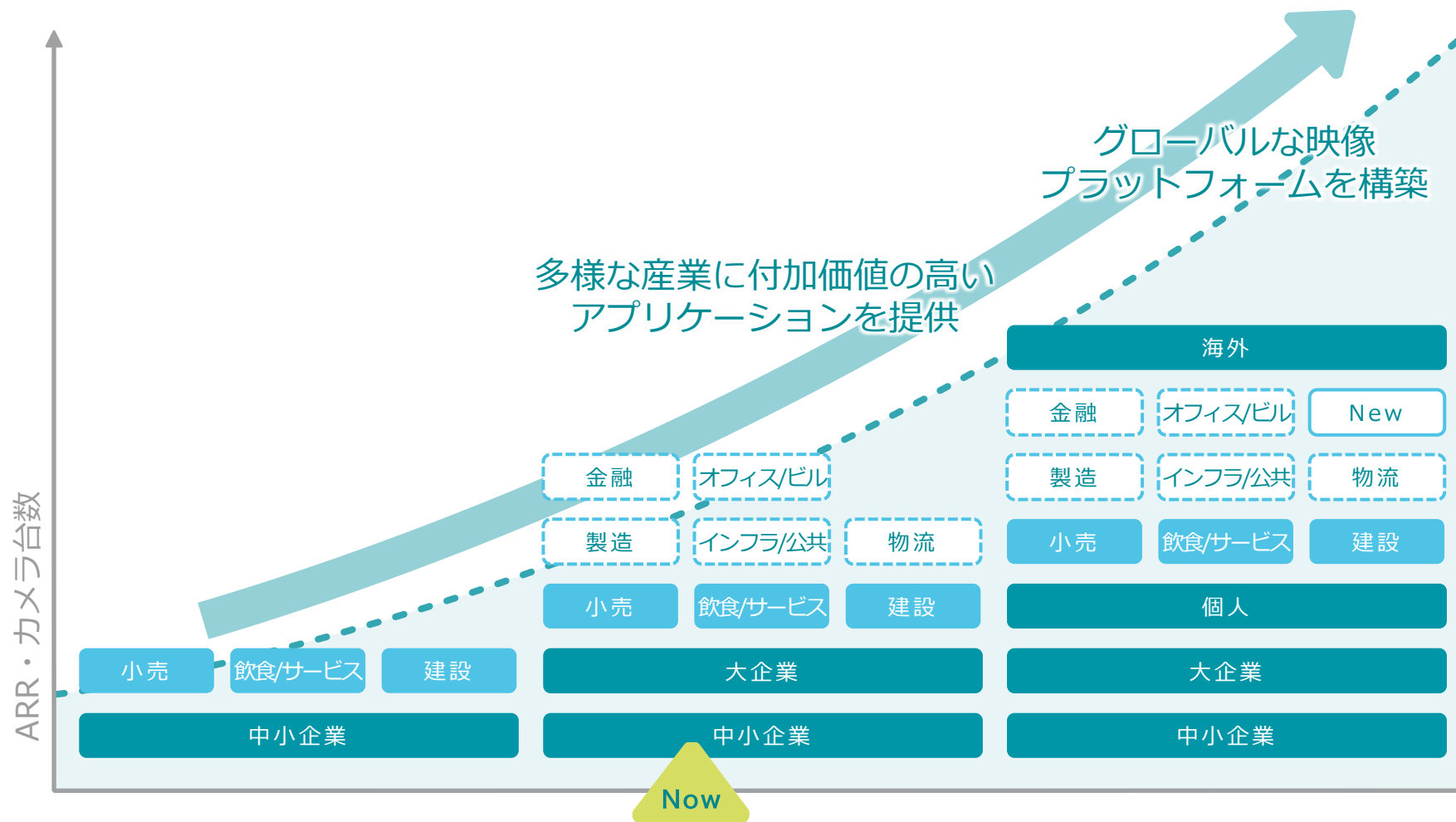
手段：お弁当エリアを4つに分割して計測

手法：立ち入りカウントの機能を使い、
滞留数/通過人数/滞留率を数値化

これまで暗黙知であった業務ノウハウの見える化、定量化にSafie Oneが貢献いたしました。

新たな業界での成長加速

✓ 既にセーフィーカメラを活用いただいている業界は広がりつつあります。



当社の顧客基盤：大手企業を含む導入/活用実績（一部）

■ 小売



■ 飲食/サービス



■ 建設



■ 製造



■ インフラ/公共



■ オフィス/ビル



■ その他店舗等



■ 物流



集積されたデータを活かしたアプリビジネスの拡大が期待可能

✓ セーフイーは、あらゆる業界のデータを集積し、お客さまの意思決定をよりよくするためのアプリケーションを生み出すことができます。



※1実証実験中を含む

映像を活用したアプリケーションマーケット構想

- ✓ 自社開発アプリだけではなく、他社が開発したアプリも含めて簡単に利用できるアプリケーションマーケットの実現を検討しております。

safie アプリポータルサービス



- 自社・他社のアプリを紹介
- オンライン上でダウンロード・決済できる
- 現在のSafieビューアーでそのまま使える



映像から未来をつくる



Safie IRに関するお問い合わせはこちら

ir@safie.jp

セーフリーのサステナビリティご紹介ページはこちら

<https://safie.co.jp/csr/>